



## 2023年3月期 第3四半期決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 水間 克之

2023年2月8日

### ■ 第3四半期 累計実績

✓ 生産台数：671千台（対前年22%増）

半導体を中心とした部品供給課題が継続する中、柔軟に生産計画を調整するなど影響の最小化に努め、第3四半期累計では **前年を上回る実績**

✓ 営業利益：2,137億円（対前年177%増）

原材料価格の高騰は継続しているものの、堅調に推移する販売モメンタムとともに円安のプラス影響が加わり、**前年に対し大幅に増益**  
（第2四半期決算同様、急激な為替変動による会計上の減益要因も含む）

### ■ 通期見直し

✓ 生産台数：880千台（対前年21%増）

下期はコロナ前水準の540千台へのチャレンジを掲げていたものの、半導体供給課題による生産制約の解消は難しく、**通期の全世界生産台数を見直し**

✓ 営業利益：3,000億円（対前年232%増）

生産台数の見直しに伴い、**通期の全世界販売台数および売上収益を見直すもの**、製造から販売まで含めたバリューチェーン全体の効率化、各種費用の精査を推し進めるとともに、想定為替レートの変更などを織り込み、**営業利益は前回発表値から変更なし**

はじめに、決算のポイントについてご説明いたします。

まずは第3四半期の累計実績です。

生産台数および営業利益については、前年を上回る結果となりました。

生産台数につきましては、

半導体を中心とした部品供給課題が継続する中、柔軟に生産計画を調整するなど、影響の最小化に努め、前年を20%以上上回ることができました。

営業利益につきましては、

原材料価格の高騰は続いているものの、米国を中心とした堅調な販売モメンタムが継続していることに加え、円安のプラス影響もあり、前年に対して大幅な増益となりました。

続いて通期見直しです。

生産につきましては、

「下期はコロナ前の水準である54万台に向けたチャレンジ」と申してまいりましたが半導体供給課題による生産制約を解消することは難しいという判断に至り、通期の全世界生産台数を88万台に見直しました。

営業利益につきましては、

生産台数減少に伴い、販売台数および売上収益は見直しますがバリューチェーン全体の効率化、各種費用の精査などを推し進めることにより、「営業利益3,000億円達成」へのこだわりを持って取り組んでまいります。

次ページ以降で、第3四半期実績、通期見直しについて詳細をご説明いたします。

## 2023年3月期 第3四半期累計実績

## 第3四半期累計実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
米国生産	199	214	+15
国内生産	350	457	+107
<b>生産台数* 合計</b>	549	<b>671</b>	+122

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	548	<b>635</b>	+88

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

はじめに、生産台数および連結販売台数についてです。

生産台数については、  
半導体を中心とした部品供給課題が継続する中、  
柔軟に生産計画を調整し、影響の最小化に努めた結果、  
前年同期に対し12万2千台の増となる67万1千台となりました。

連結販売台数については、  
生産台数が増加したことに伴い出荷台数が増加したことから、  
前年同期に対しグローバルで8万8千台の増となる63万5千台となりました。

第3四半期累計実績 連結完成車販売台数（市場別）

（千台）

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
登録車	54	62	+8
軽自動車	12	14	+2
<b>国内合計</b>	66	76	+10
米国	372	437	+65
カナダ	39	33	-6
欧州	12	15	+3
豪州	27	34	+7
中国	11	8	-3
その他	22	32	+10
<b>海外合計</b>	482	559	+77
<b>合計</b>	548	635	+88

市場別連結販売台数実績についてはご覧の通りです。

主要市場の米国では引き続き需要は強く、対前年同期で6万5千台の増となりました。

## 第3四半期累計実績 連結業績

(億円)

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
売上収益	20,075	<b>28,080</b>	+8,005
国内	3,457	<b>4,318</b>	+861
海外	16,618	<b>23,762</b>	+7,144
営業利益	772	<b>2,137</b>	+1,365
税引前利益	913	<b>2,151</b>	+1,239
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	629	<b>1,544</b>	+916
為替レート US\$	¥111	<b>¥136</b>	+¥25
EURO	¥131	<b>¥141</b>	+¥10
CAN\$	¥89	<b>¥103</b>	+¥15

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

続いて、連結業績です。

売上収益は、

為替レート差+3,989億円、

販売台数増による売上構成差等+3,987億円により、

前年同期比8,005億円の増収となる2兆8,080億円となりました。

営業利益は、

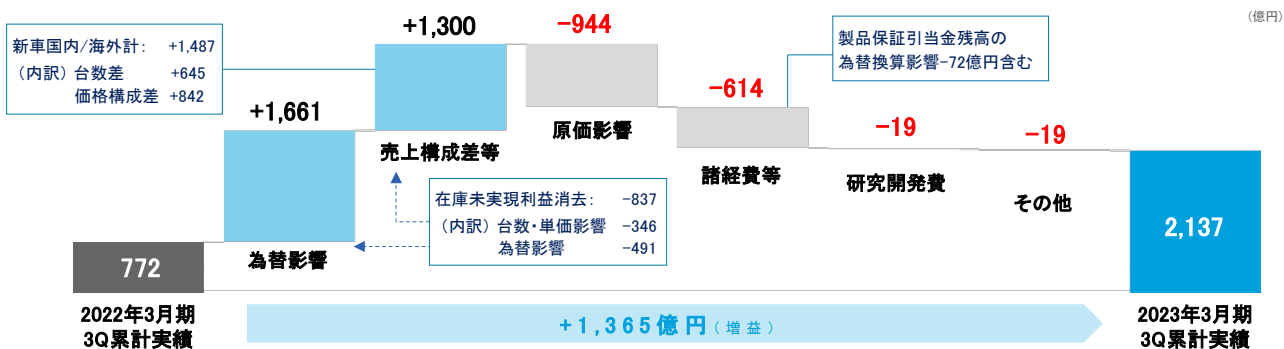
前年同期比1,365億円の増益となる2,137億円となりました。

また、税引前利益は1,239億円の増益となる2,151億円、

親会社の所有者に帰属する当期利益は916億円の増益となる1,544億円となりました。

前年実績対比

### 第3四半期累計実績 営業利益増減要因



為替影響	+1,661	売上構成差等	+1,300	原価影響	-944	諸経費等	-614						
US \$	+1,996	新車国内	+152	SUBARU	-688	SIA *1	-256	製造固定費	-112	販管費	-130	保証修理費	-372
EURO	+20	新車海外	+1,335	原価低減	+33	原価低減	+6	SUBARU	-130	SIA *1	+18	SUBARU	-132 (為替換算影響含む)
CAN \$	+81	販売奨励金	-41	原材料・市況等	-721	原材料・市況等	-262	外製型費	-75	外製型費	+22	国内ディーラー	-5
中国元	-2	その他	-146					固定加工費	-55	固定加工費	-4	SOA *2	-30
仕入為替調整	+57											SCI *3	-
未実現利益分	-491											その他	+37

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

次に、営業利益増減要因についてです。

主な増益要因として、

販売台数の増加および販売価格の改定等により、売上構成差等で+1,300億円となりました。第2四半期より販売価格改定による業績への貢献が本格化し、売上構成差等のうち価格構成差で+842億円となりました。

また、USDドル約25円の円安を主因とする為替影響で+1,661億円となりました。

一方で在庫台数の増加に加え、台当たり単価上昇の影響、為替影響により、未実現利益消去額が大きく増加し、-837億円の減益要因となりました。

うち為替影響が-491億円です。

主な減益要因は、

貴金属価格は落ち着いて来ているものの、

その他原材料・市況の高騰と、エネルギー費等の高騰によるサプライヤーの皆様の負担軽減により原価影響で-944億円となりました。

また、諸経費等で-614億円となりました。

米国市場向け販売奨励金については、

前年同期の台当たり850ドルに対し50ドル増となる900ドルとなり、奨励金総額としては88億円の増加となりました。

## キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	
営業活動によるCF	859	3,257	
投資活動によるCF	-1,269	-2,018	
フリーCF	-410	1,239	
財務活動によるCF	-746	-942	
現金及び現金同等物の為替影響額	228	472	
	2022年3月末	2022年12月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	8,831	9,599	+768
有利子負債 期末残高 *	3,340	3,268	-73
ネットキャッシュ	5,490	6,331	+841

\*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

次にキャッシュフローおよび手元資金の状況です。

フリーキャッシュフローは1,239億円となりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に対し768億円増となる9,599億円となりました。

そのうち、USD建て預金等の為替換算影響472億円を含みます。

有利子負債残高は、前期末に対し73億円減の3,268億円となりました。

その結果、ネットキャッシュは前期末に対し841億円増の6,331億円となりました。



## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
設備投資 * 1	506	767	+261
減価償却費 * 1	699	759	+60
研究開発支出 * 2	869	759	-111

\*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。  
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

## 2023年3月期 見通し

## 通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画*2 (b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	272	-	-	-	-
国内生産	455	-	-	-	-
<b>生産台数*1 合計</b>	<b>727</b>	<b>970</b>	<b>880</b>	<b>+153</b>	<b>-90</b>

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	<b>734</b>	<b>920</b>	<b>870</b>	<b>+136</b>	<b>-50</b>

\*1 トヨタ向けGR86の台数を含む  
\*2 2022年11月2日発表値

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

続いて、2023年3月期 通期計画についてご説明いたします。

下期はコロナ前の水準である54万台レベルの生産にチャレンジし、1台でも多くの車を生産できるよう取り組んでまいりましたが、半導体供給課題による生産制約の解消は難しく、生産台数については、97万台から88万台へと修正いたします。

連結販売台数については、生産台数減に伴い92万台から87万台へと修正いたしますが、業績計画達成に向けて、影響を最小限に抑えるよう努めていきます。

通期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
登録車	73	95	87	+14	-8
軽自動車	17	20	19	+2	-1
<b>国内合計</b>	<b>89</b>	<b>115</b>	<b>106</b>	<b>+16</b>	<b>-10</b>
米国	506	631	598	+92	-33
カナダ	49	50	45	-4	-5
中国	14	14	11	-3	-3
その他	75	110	110	+35	+0
<b>海外合計</b>	<b>645</b>	<b>805</b>	<b>764</b>	<b>+120</b>	<b>-40</b>
<b>合計</b>	<b>734</b>	<b>920</b>	<b>870</b>	<b>+136</b>	<b>-50</b>

市場別の連結販売計画につきましては、ご覧の通りです。

## 通期計画 連結業績

(億円)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上収益	27,445	38,000	<b>37,000</b>	+9,555	-1,000
営業利益	905	3,000	<b>3,000</b>	+2,095	±0
税引前利益	1,070	3,000	<b>3,000</b>	+1,930	±0
親会社の所有者に帰属する 当期利益	700	2,100	<b>2,100</b>	+1,400	±0
為替レート US\$	¥112	¥133	<b>¥134</b>	+¥23	+¥2
EURO	¥130	¥136	<b>¥140</b>	+¥9	+¥4
CAN\$	¥89	¥103	<b>¥102</b>	+¥13	-¥1

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

13

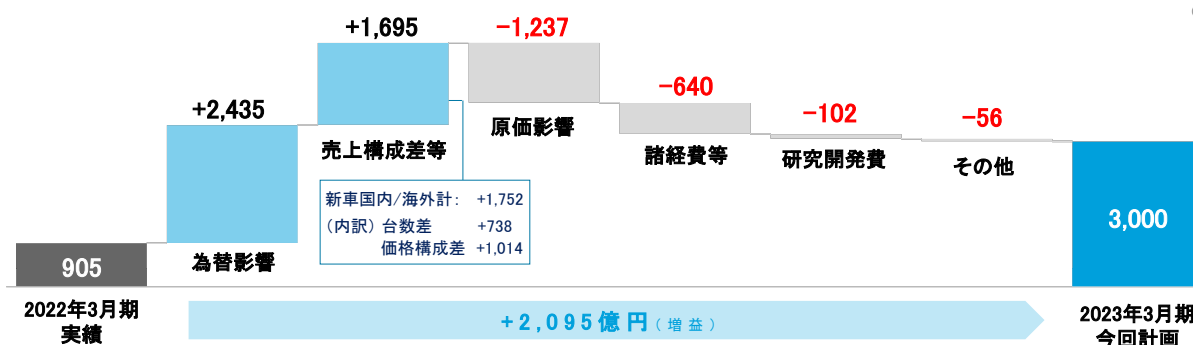
続いて、連結業績です。

生産台数9万台、販売台数5万台減による影響を見込み、  
売上収益につきましては、前回計画から1,000億円減となる3兆7,000億円へと修正いたします。

営業利益につきましては、  
USDドル2円の円安による為替影響に加え、  
価格構成差の改善や、諸経費等の削減でカバーし、  
全社一丸となって、前回計画から不変の3,000億円に向けて取り組んでまいります。

前年実績対比  
通期計画 営業利益増減要因

(億円)



為替影響	+2,435	売上構成差等	+1,695	原価影響	-1,237	諸経費等	-640							
US \$	+2,511	新車国内	+173	SUBARU	-929	SIA *1	-308	製造固定費	-199	販管費	-171	保証修理費	-270	
EURO	+32	新車海外	+1,579	原価低減	+38	原価低減	+2	SUBARU	-185	SIA *1	-14	SUBARU	-191	(為替換算影響含む)
CAN \$	+115	販売奨励金	-157	原材料・市況等	-967	原材料・市況等	-310	外製型費	-85	外製型費	+17	国内ディーラー	-6	
中国元	-1	その他	+100					固定加工費	-100	固定加工費	-31	SOA *2	-43	
仕入為替調整	-19										SCI *3	-10		
未実現利益分	-203										その他	+79		

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.  
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

次に、前年実績対比の営業利益増減要因についてご説明いたします。

主な増益要因は、  
連結販売台数13万6千台の増加による+738億円、  
車種・グレード間構成の改善及び販売価格の改定による+1,014億円を見込み、  
売上構成差等で1,695億円の改善を図ります。

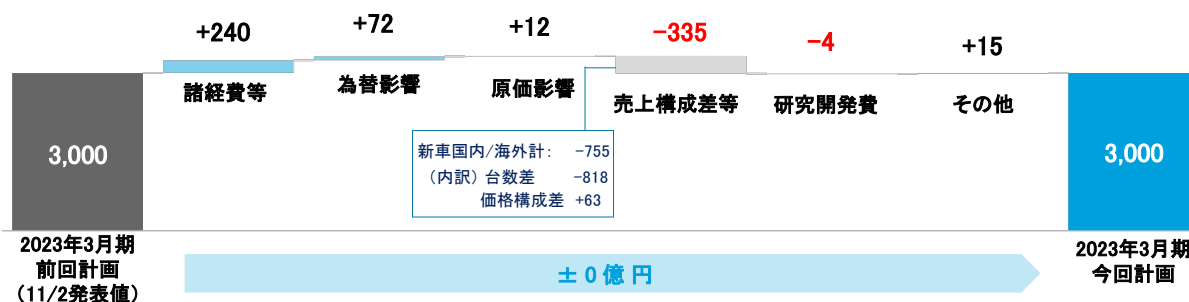
また、USD約23円の円安を前提とし、+2,435億円となる見通しです。

主な減益要因は、  
第3四半期と同様に、その他原材料・市況の高騰と、  
エネルギー費等の高騰によるサプライヤーの皆様の負担軽減を含め、  
原価影響で-1,237億円となる見通しです。

また、米国市場向け販売奨励金については、  
前年の台当たり700ドルに対し300ドル増となる1,000ドルとなり、  
奨励金総額としては184億円の増加となる見通しです。

前回計画(11/2発表値)対比  
 通期計画 営業利益増減要因

(億円)



新車国内/海外計: -755  
 (内訳) 台数差 -818  
 価格構成差 +63

諸経費等				+240		為替影響		+72		原価影響		+12		売上構成差等		-335	
製造固定費	+2	販管費	+78	保証修理費	+160	US \$	+149	SUBARU	+66	SIA *1	-54	新車国内	-38				
SUBARU	+1	SIA *1	+1	SUBARU	+38	(為替換算影響含む)	EURO	+24	原価低減	-36	原価低減	+1	新車海外	-717			
外製型費	+5	外製型費	+23	国内ディーラー	+5		CAN \$	-10	原材料・市況等	+102	原材料・市況等	-55	販売奨励金	+126			
固定加工費	-4	固定加工費	-22	SOA *2	+16		中国元	-					その他	+294			
				SCI *3	+1			仕入為替調整	-132								
				その他	+18			未実現利益分	+41								

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.  
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前回計画からの営業利益増減要因についてご説明いたします。

台数減により売上構成差等で-335億円となる見込みですが、  
 諸経費等で+240億円、USドル前提2円の円安により為替影響+72億円で打ち返し、  
 3,000億円を維持するべく取り組んでまいります。

## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 * 1	861	1,400	1,300	+439	-100
減価償却費 * 1	946	1,000	1,000	+54	±0
研究開発支出 * 2	1,138	1,200	1,100	-38	-100

\* 1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\* 2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。  
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資・減価償却費・研究開発支出についてです。

設備投資および研究開発支出については、前回発表値に対しそれぞれ100億円減少となる見込みです。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2023年3月期 第3四半期決算の説明を終わります。ありがとうございました。



## ご参考

- ・ セグメント情報（事業別 / 所在地別）
- ・ 海外売上収益
- ・ 連結財政状態計算書
- ・ 単独販売台数
- ・ 米国子会社業績
- ・ 第3四半期（3ヵ月）連結業績実績
- ・ 第4四半期（3ヵ月）連結業績計画
- ・ 下期 連結業績計画
- ・ 2022年3月期及び2023年3月期実績（四半期別）
- ・ 生産台数 / 小売台数 推移

### 第3四半期累計実績 事業セグメント情報

(億円)

	売上収益				営業利益			
	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減	2023年3月期 通期計画	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減	2023年3月期 通期計画
自動車	19,573	27,503	+7,930	36,167	750	2,115	+1,365	2,951
航空宇宙	466	540	+74	784	-25	-25	-0	2
その他	36	37	+1	48	46	47	+2	47
消去・全社	-	-	-	-	1	-0	-1	-
合計	20,075	28,080	+8,005	37,000	772	2,137	+1,365	3,000

### 第3四半期累計実績 所在地別セグメント情報

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
日本	4,873	<b>6,283</b>	+1,410	154	<b>2,157</b>	+2,003
北米	14,357	<b>20,860</b>	+6,504	792	<b>957</b>	+165
その他	846	<b>937</b>	+91	7	<b>-11</b>	-18
消去・全社	-	-	-	-181	<b>-966</b>	-786
合計	20,075	<b>28,080</b>	+8,005	772	<b>2,137</b>	+1,365

### 第3四半期累計実績 海外売上収益

(億円)

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
北米	14,652	21,158	+6,506
欧州	499	569	+70
アジア	562	708	+146
その他	904	1,326	+422
合計	16,618	23,762	+7,144

## 連結財政状態計算書

(億円)

	2022年3月末	2022年12月末	増減
<b>資産合計</b>	35,438	<b>38,475</b>	+3,038
流動資産	20,422	<b>23,117</b>	+2,695
非流動資産	15,015	<b>15,358</b>	+343
<b>負債合計</b>	16,427	<b>18,016</b>	+1,588
有利子負債	3,340	<b>3,268</b>	-73
<b>資本合計</b>	19,010	<b>20,459</b>	+1,449
利益剰余金	14,663	<b>15,699</b>	+1,035
親会社の所有する帰属持分	18,908	<b>20,366</b>	+1,459
親会社の所有者に帰属する持分比率	53.4%	<b>52.9%</b>	-0.5%
D/Eレシオ	0.18	<b>0.16</b>	-0.02

### 第3四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
<b>国内生産*</b>	350	<b>457</b>	+107
<b>国内売上</b>	63	<b>80</b>	+16
登録車	52	<b>65</b>	+13
軽自動車	12	<b>15</b>	+3
<b>輸出台数</b>	292	<b>374</b>	+82
<b>海外生産用部品</b>	237	<b>245</b>	+8
<b>単独合計売上</b>	593	<b>699</b>	+106

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

### 第3四半期累計実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
売上高	11,961	14,322	+2,361
営業利益	793	686	-107
当期純利益	640	480	-160
小売販売台数(千台)	421	422	+1
SIA *2	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	増減
売上高	5,212	6,038	+826
営業利益	-174	-84	+91
当期純利益	-157	-54	+103
生産台数(千台)	199	214	+15

\*1 SOA: Subaru of America Inc. \*2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第3四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 3Q実績	2023年3月期 3Q実績	増減
登録車	18	23	+4
軽自動車	3	5	+2
<b>国内合計</b>	21	27	+6
米国	119	158	+40
カナダ	10	11	+1
欧州	4	7	+3
豪州	10	15	+5
中国	2	2	-0
その他	6	16	+9
<b>海外合計</b>	151	210	+59
<b>合計</b>	172	237	+65



## 第3四半期(3ヵ月)実績 連結業績

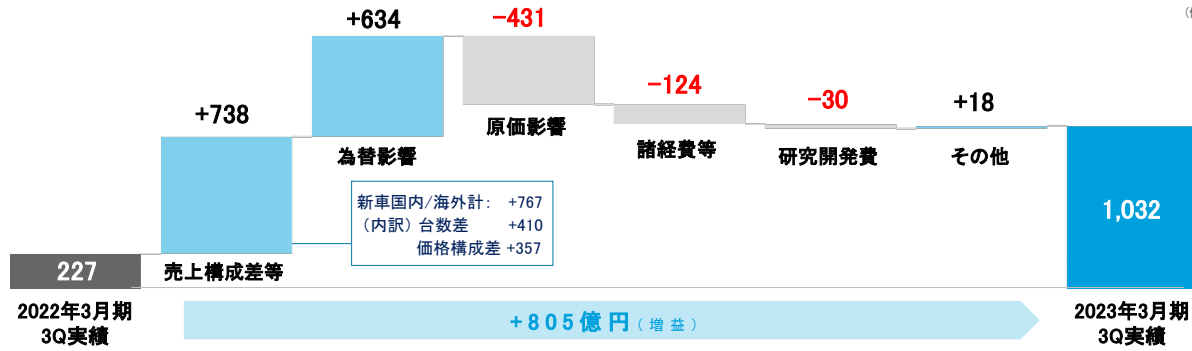
(億円)

	2022年3月期 3Q実績	2023年3月期 3Q実績	増減
<b>売上収益</b>	6,659	<b>10,571</b>	+3,912
国内	1,278	<b>1,502</b>	+224
海外	5,381	<b>9,069</b>	+3,688
<b>営業利益</b>	227	<b>1,032</b>	+805
<b>税引前利益</b>	301	<b>948</b>	+647
親会社の所有者に帰属する <b>四半期利益</b>	181	<b>766</b>	+585
<b>為替レート</b> US\$	¥113	<b>¥144</b>	+¥31
EURO	¥130	<b>¥144</b>	+¥14
CAN\$	¥90	<b>¥107</b>	+¥17

前年実績対比

第3四半期(3ヵ月)実績 営業利益増減要因

(億円)



新車国内/海外計: +767  
(内訳)台数差 +410  
価格構成差 +357

売上構成差等	+738	為替影響	+634	原価影響	-431	諸経費等	-124			
新車国内	+59 US \$	+912 SUBARU	-318 SIA *1	-113	製造固定費	-33	販管費	-82	保証修理費	-9
新車海外	+708 EURO	+18 原価低減	+10 原価低減	+3	SUBARU	-19 SIA *1	-14 SUBARU	-49	(為替換算影響含む)	
販売奨励金	-118 CAN \$	+30 原材料・市況等	-328 原材料・市況等	-116	外製型費	+5	外製型費	-1	国内ディーラー	-2
その他	+89 中国元	-3			固定加工費	-24	固定加工費	-13	SOA *2	-29
	仕入為替調整	-120							SCI *3	-5
	未実現利益分	-203							その他	+3

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第4四半期(3ヵ月)計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 4Q実績	2023年3月期 4Q計画	増減
登録車	19	25	+6
軽自動車	5	5	+0
<b>国内合計</b>	24	30	+6
米国	135	161	+27
カナダ	10	11	+1
中国	3	3	-0
その他	15	30	+15
<b>海外合計</b>	163	205	+42
<b>合計</b>	187	235	+48

## 第4四半期(3ヵ月)計画 連結業績

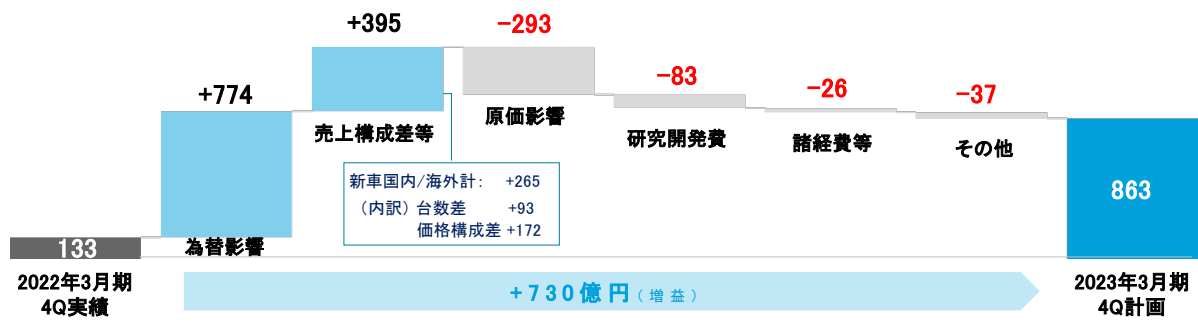
(億円)

	2022年3月期 4Q実績	2023年3月期 4Q計画	増減
<b>売上収益</b>	7,370	<b>8,920</b>	+1,550
国内	1,423	<b>1,409</b>	-15
海外	5,947	<b>7,512</b>	+1,565
<b>営業利益</b>	133	<b>863</b>	+730
<b>税引前利益</b>	157	<b>849</b>	+692
親会社の所有者に帰属する <b>四半期利益</b>	71	<b>556</b>	+484
<b>為替レート</b> US\$	¥115	<b>¥132</b>	+¥17
EURO	¥130	<b>¥141</b>	+¥12
CAN\$	¥90	<b>¥98</b>	+¥8

前年実績対比

第4四半期(3ヵ月)計画 営業利益増減要因

(億円)



為替影響	+774	売上構成差等	+395	原価影響	-293	諸経費等	-26							
US \$	+515	新車国内	+21	SUBARU	-241	SIA *1	-52	製造固定費	-87	販管費	-41	保証修理費	+102	
EURO	+12	新車海外	+244	原価低減	+5	原価低減	-4	SUBARU	-55	SIA *1	-32	SUBARU	-59	(為替換算影響含む)
CAN \$	+34	販売奨励金	-116	原材料・市況等	-246	原材料・市況等	-48	外製型費	-10	外製型費	-5	国内ディラー	-1	
中国元	+1	その他	+246					固定加工費	-45	固定加工費	-27	SOA *2	-13	
仕入為替調整	-76											SCI *3	-10	
未実現利益分	+288											その他	+42	

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

下期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 下期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
登録車	37	55	47	+10	-8
軽自動車	8	11	10	+2	-1
<b>国内合計</b>	45	67	57	+12	-10
米国	253	353	320	+66	-33
カナダ	20	27	22	+3	-5
中国	5	7	5	-0	-3
その他	35	68	68	+32	+0
<b>海外合計</b>	314	455	415	+101	-40
<b>合計</b>	359	522	472	+113	-50

## 下期計画 連結業績

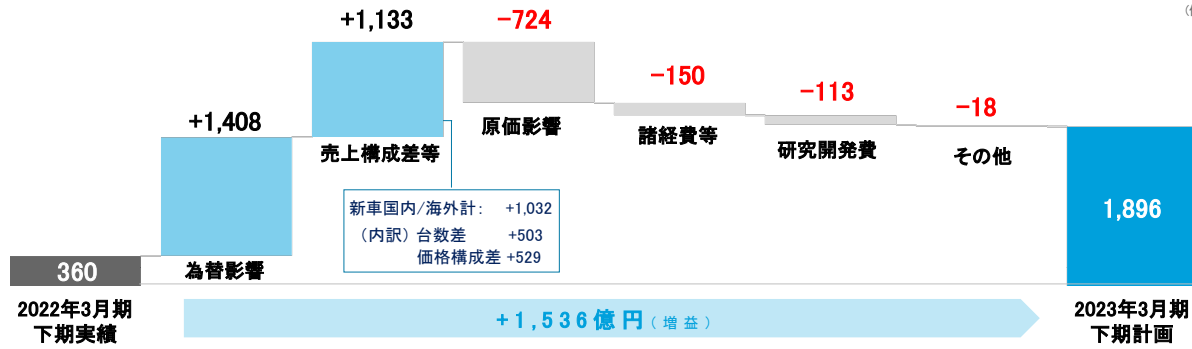
(億円)

	2022年3月期 下期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
<b>売上収益</b>	14,029	20,491	<b>19,491</b>	+5,462	-1,000
国内	2,701	3,232	<b>2,911</b>	+209	-322
海外	11,328	17,259	<b>16,580</b>	+5,253	-678
<b>営業利益</b>	360	1,896	<b>1,896</b>	+1,536	±0
<b>税引前利益</b>	458	1,796	<b>1,796</b>	+1,338	±0
親会社の所有者に帰属する <b>四半期利益</b>	252	1,321	<b>1,321</b>	+1,069	±0
<b>為替レート</b> US\$	¥114	¥135	<b>¥138</b>	+¥25	+¥3
EURO	¥130	¥135	<b>¥143</b>	+¥13	+¥8
CAN\$	¥90	¥105	<b>¥102</b>	+¥13	-¥3

前年実績対比

下期計画 営業利益増減要因

(億円)



為替影響	+1,408	売上構成差等	+1,133	原価影響	-724	諸経費等	-150							
US \$	+1,427	新車国内	+80	SUBARU	-559	SIA *1	-165	製造固定費	-120	販管費	-123	保証修理費	+93	
EURO	+30	新車海外	+952	原価低減	+15	原価低減	-1	SUBARU	-74	SIA *1	-46	SUBARU	-108	(為替換算影響含む)
CAN \$	+64	販売奨励金	-234	原材料・市況等	-574	原材料・市況等	-164	外製型費	-5	外製型費	-6	国内ディーラー	-3	
中国元	-2	その他	+335					固定加工費	-69	固定加工費	-40	SOA *2	-42	
仕入為替調整	-196											SCI *3	-15	
未実現利益分	+85											その他	+45	

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



2022年3月期および2023年3月期実績(四半期別)

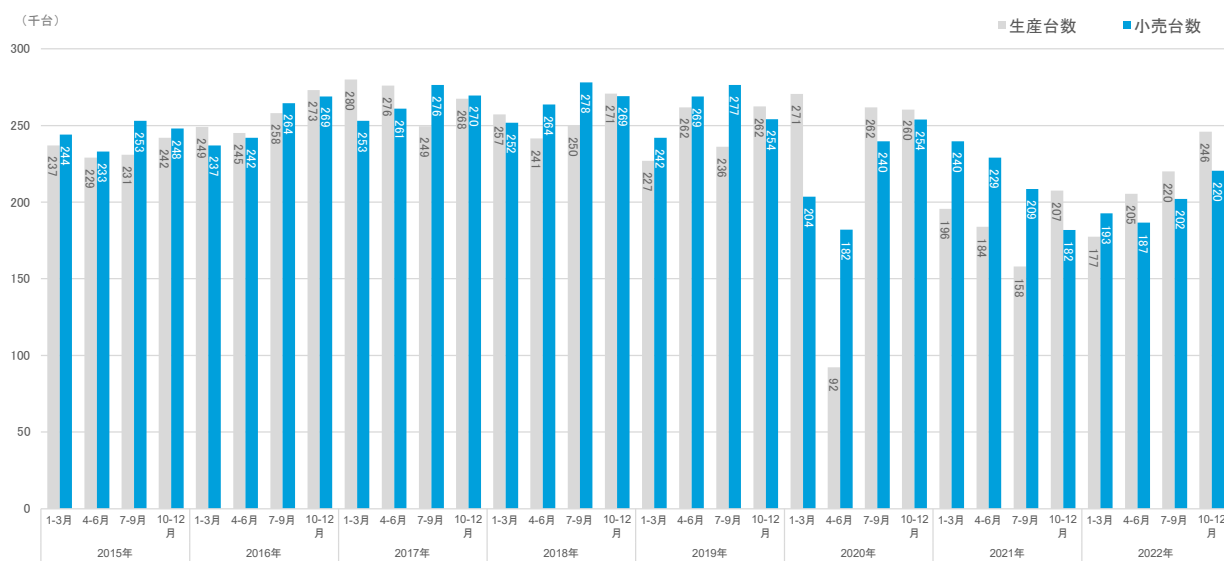
(億円)

	2022年3月期				2023年3月期		
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績
連結販売台数(千台)	175	200	172	187	196	203	237
生産台数*(千台)	184	158	207	177	205	220	246
売上収益	6,352	7,065	6,659	7,370	8,341	9,168	10,571
営業利益	295	249	227	133	370	735	1,032
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	185	263	181	71	272	506	766
為替レート US\$	¥109	¥110	¥113	¥115	¥125	¥135	¥144

\*トヨタ向けGR06の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

## 生産台数 / 小売台数 推移



\* 生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



**SUBARU**

本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。